

阿久和区・樫曲区姉妹集落縁組 30周年記念式典

末永いおつきあい

催され、 ました。 今後も交流を深めていきたい」とあいさつし 曲区長が「集落間での姉妹縁組はめずらしい 係者約8人が出席。 年に結ばれたものです。式典には両区民ら関 代に活躍した杣山城主瓜生保の縁で、昭和55 そまやまで開かれました。これは、 姉妹集落縁組30周年記念式典が、 い交流を誓い合いました。 6月27日、 記念講演が行われた後には祝賀会が 30周年の節目を祝うとともに、末永 阿久和区と敦賀市樫曲区による 和田阿久和区長と藤木樫 花はす温泉 南北朝時



南条地区文化協議会発表会

練習の成果を堂々披露

日頃の練習の成果を堂々と披露。観客から大来いとさ保存会も参加し、それぞれの団体が きな拍手が送られました。 地区のカラオケサー らの舞台発表では、 会が、南条文化会館で盛大に開催されました。 自慢の品や腕前を披露しました。 美術愛好会会員や囲碁同好会会員が集ま ーなどでは水墨画や書道、 草木染、 日本舞踊、 訪れた人の目を楽しませました。ま 第32回南条地区文化協議会発表 手芸などの力作が数多く展 合唱や民踊、 盆踊りなどに加え、 クルと河野地区の甲楽城 陶芸、写真: 午後か 謡曲、 今庄







ピンク、白、赤紫:

赤紫…大輪のハス艶やかに

開催されるまつりの開幕を祝いました。 りが開幕しました。 7月3日、 トとくす玉割りが行われ、8月8日まで 花はす公園で、第18回はすまつ オープン式では、

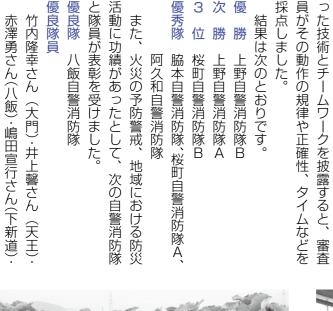
南えたけん 2010年8月号 6

象鼻杯、 思いに楽しみました。そのほか、 の葉や茎から抽出した「はすエキス」を入れ 穴を開け茎からジュースやワインなどを飲む かに咲き誇る大輪の花を写真に撮るなど思い 内を散策しながら、ピンク、白、赤紫と艶や 花が咲きました。まつりに訪れた人たちは園 培。今年の開花は6月25日と例年より遅めで ラジルなど世界各地の花八ス約1 ヘクター お土産も人気を集めました。 「はすロウソク」などハスを使った食べ物や た足湯、「はすうどん」 「はすソフトクリ ベトナム、ネパ したが、日が経つごとに次々と色とりどりの 2つの観賞池と8つの観賞園を持つ3・3 ハスの繊維を使った色紙作り、 ルの広大な園内では、日本、 イタリア、 ロシア、 ハスの葉に 20種を栽

面を包み込み、 点灯が始まると、 日の夜には、 また、花八スを模した「花はす灯ろう」 まつりを盛り上げました。 観賞池の周りに盆踊りの輪が広 幻想的な世界を演出。 ぼんやりとした明かりが水 7 月 17 の

じみょうれん)など。もうしばらくの間、 ハスを楽しむことができそうです。 ょざんこうれん)、玉泉寺妙蓮(ぎょくせんは、陽山紅(ようざんこう)、漁山紅蓮(ざ これから8月上旬にかけて見頃となるの





優秀隊

次 優 採点しました。

った技術とチ

も全力で走り、素早くホースをつなぐなど培

日頃の訓練の成果を競いました。 年行われ、今回は15集落から17チ

操法は、

指揮者の号令に合わせて3本のホ

的に向けて放水。どのチ

スをつなぎ、

の融和強調、

消防体制の充実強化を目的に毎

ムが参加、

期消火のための必要な技術の習得、

隊員相互

この大会は、

自警消防隊員の士気の高揚と初

集落排水処理施設前の広場で行われました。 の小型ポンプ操法大会が、今庄中部地区農業 消火技術とチームワーク競う

月4日、

南越前町自警消防隊連絡協議会

南越前町自警消防隊連絡協議会

小型ポンプ操法大会

スポーツで親睦深め 南越前町福祉団体連合スポーツ大会

を図り、 を目的に毎年行われています。 この大会は、スポーツを通して各団体の融和 堂に集まり、 会など町内7福祉団体の会員約290人が一 ブ連合会や身体障害者連合会、 7月4日、 会員の健康増進と親睦を深めること スポーツ大会が行われました。 南条小学校体育館で、 婦人福祉協議 老人クラ

らは歓声や拍手が送られました。 わきあいあいと楽しく競技に参加。 どいろいろな種目が行われました。選手らは、 送りリレーや空き缶立て競争、 10人で協力しながら頭上で大玉を送るボ 開会式後、全員で準備体操をして競技開始。 紅白玉入れな 応援席か



桃色鮮やか 誠蓮(まことばす) 新盆用、関東方面へ 初出荷

13ヘクター どもある葉をかき分けながら、桃色のつぼみの人たちはひざまでハス田につかり、背丈ほ 月8日午前4時半ごろから、 を傷めないよう一本一本丁寧に鎌を入れてい 花弁が多く、花が長持ちするのが特徴。 作業が行われました。誠蓮は、農家9軒で約 金粕、 ルのハス田に作付けられており、 上野の花八ス生産農家で、 誠蓮の刈り取り 農家

面に約35、000本を初出荷しました。時に南条蓮生産組合から新盆用として関東方 各農家で20本ずつに束ねて箱詰めし、 のの、色つやは良好とのこと。 今年は、 春先の低温で生育が遅れているも 刈り取り後は

嶋﨑勝輝さん(阿久和)・森貴之さん